

このしま
おうこく

木

Lost
in
Sansui
Painting

山

KOKU

島

水

KONOS

夢

中

櫻

MIYAMA

谷

2023 6.3 SAT. - 7.23 SUN.

前期 | 6月3日(土) - 6月25日(日) 後期 | 6月27日(火) - 7月23日(日)
ただし《寒月》のみ6月3日(土) - 6月18日(日)

【開館時間】11時～18時 ○金曜日は19:00まで開館 ○入館は閉館の30分前まで
【休館日】月曜日(7月17日をのぞく)、7月18日
【入館料】一般1,200円(1,000円)、高大生800円(700円)、中学生以下無料
○20名様以上の団体は()内の割引料金

○障がい者手帳等ご呈示のかたはご本人および同伴者1名まで無料
【主催】公益財団法人泉屋博古館、公益財団法人櫻谷文庫、BSフジ、ライブエグザム
【後援】港区教育委員会

泉屋博古館東京

SEN-OKU
HAKUKOKAN
MUSEUM TOKYO



(万壑烟霧)左隻・部分
株式会社千總 木島櫻谷

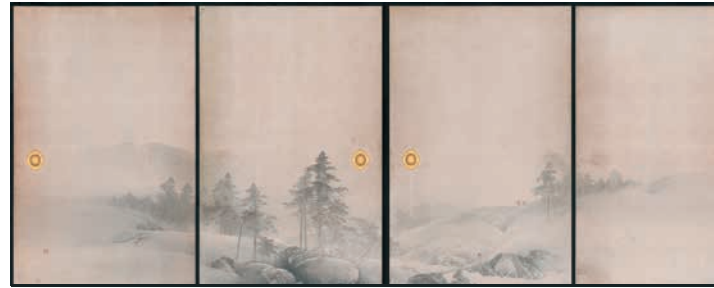


1



2

近 代の京都画壇を代表する存在として近年再評価が進む日本画家木鳥櫻谷（1877-1938）。動物画で名を馳せた彼ですが、生涯山水画を描き続けたことも見逃すことはできません。なによりも写生を重んじた彼は、日々大原や貴船など京都近郊に足を運び、また毎回数週間にもわたる旅行で山海の景勝の写生を重ねました。その成果は、西洋画の空間感覚も取り入れた近代的で明澄な山水画を切り拓くこととなりました。一方、幼い頃より漢詩に親しみ、また古画を愛した彼は、次第に中華文人の理想世界を日本の風景に移し替えたような、親しみやすい新感覚の山水表現に至ります。本展では屏風などの大作から日々を彩るさりげない掛物まで、櫻谷生涯の多彩な山水画をご覧いただき、確かな画技に支えられた詩情豊かな世界をご紹介します。あわせて画家の新鮮な感動を伝える写生帖、収集し手元に置いて愛でた古典絵画や水石も紹介し、櫻谷の根底にあり続けた心の風景を探ります。



3

- 1 《寒月》大正元年(1912)京都市美術館【展示期間：6/3～6/18】
- 2 《駅路之春》大正2年(1913)福田美術館【展示期間：通期】
- 3 《南陽院本堂障壁画》明治43年(1910)京都・南陽院【展示期間：前後期で入れ替えあり】
- 4 写生帖《海濤集三》若狭美浜 明治38年(1905)櫻谷文庫【展示期間：通期（ページ替えあり）】
- 5 写生帖《芙蓉集一》富士（部分）明治41年(1908)【展示期間：通期（ページ替えあり）】
- 6 《泊船》大正4年(1915)個人蔵【展示期間：通期】

お得な前売券・
プレミアムチケットの
詳細はこちら
【取扱い】イープラス



泉屋博古館東京

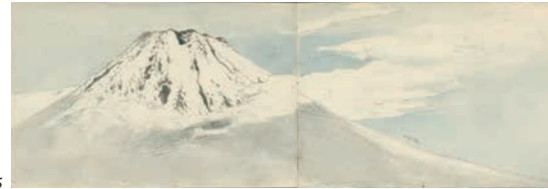
〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1
TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
<https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

【アクセス案内】

- 東京メトロ・南北線「六本木一丁目」駅下車
北改札正面出口より屋外エスカレーターで3分
- 日比谷線「神谷町」駅下車・4b出口より徒歩10分
- 銀座線「溜池山王」駅下車・13番出口より徒歩10分



4



5

ラーニング・プログラム

- ① 記念講演会
「木鳥櫻谷の軌跡・駅路之春の奇跡」
(要事前申込・要観覧券)
[日時] 6月3日(土) 14:00～15:00
[講師] 阿部亜紀氏 (一財)福田美術振興財団学芸員
- ② 講演会
「木鳥櫻谷の生涯と山水画」
(要事前申込・要観覧券)
[日時] 6月25日(日) 14:00～15:30
[講師] 実方葉子 (泉屋博古館学芸部長)
- ③ シンポジウム
「櫻谷山水画のレシピ」
(要事前申込・要観覧券)
[日時] 7月8日(土) 14:00～16:30
[基調講演] 実方葉子 (泉屋博古館学芸部長)
[登壇者] 竹浪遠氏 (京都市立芸術大学准教授)
森光彦氏 (京都市セラ美術館学芸員)
野地耕一郎 (泉屋博古館東京館長)
[モデレーター] 椎野晃史 (泉屋博古館東京学芸員)
- ④ 〈アートwith〉レクチャー
「美術雑誌の仕事」
(要事前申込・要観覧券・要参加費)
[日時] 7月14日(金) 17:30～18:30
[講師] 柳田康弘氏 (一枚の繪 編集者)
[聴講料] 500円
- ⑤ オウコク・トーク
(要観覧券)
6月17日(土) 14:00～15:00
椎野晃史 (泉屋博古館東京学芸員)
7月15日(土) 14:00～15:00
野地耕一郎 (泉屋博古館東京館長)
※当日11時より整理券配布(定員になり次第、締め切らせていただきます)。

各プログラムの詳細、
お申込みについては
当館ウェブサイトをご覧ください。



6